

平成24年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	校内研究会の推進役に求められるファシリテイト能力に関する研究 ー体育科を対象に研究する学校研究組織に視点を当ててー
------	--

研究代表者

氏名 鈴木 聡	所属 芸術・スポーツ科学系 健康・スポーツ科学講座	職名 准教授
------------	---------------------------------	-----------

研究分担者

氏名	所属	職名

【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度)

1. 問題の所在と研究目的

小学校現場では、大量採用時代を迎え、若手教員の教師教育を自校で行いながら全教員の実践的力量を形成していくことが求められている。その中で、校内研究会をその実現の場として機能させていくことが近年重視されてきている。校内研究会は、我が国の小学校における教師文化としてその成果が欧米にも紹介されているが、近年の課題として、一つの学校における教員の職歴に偏りがあること、ベテラン期の教員の大量退職（団塊の世代の退職と早期退職双方が原因）、学校の中心となって研究を推進していくことが期待される中堅層の教員が少ないことがあげられており、研究を推進する上での困難さが指摘されている。学校研究において中堅期の教員の職能開発については、教員全体の資質の向上に向けても大きな課題である。本研究では、特に体育科を校内研究会の推進役（以下推進委員長と記す）に求められるファシリテイト能力とはいかなるものであるかを参与観察及び該当教師へのインタビュー調査によって明らかにし、現職教育における効果的な校内研究の在り方を示すことを目的とした。

2. 調査結果と本研究の成果・課題

本研究の目的を明らかにするために、体育科を研究している小学校授業研究の参与観察と推進委員長教諭へのインタビュー調査を行った。参与観察の結果、推進委員長の行動内容は、「研究環境の整備」「指導案検討会の運営」「若手教員のための研修実施」「指導助言講師の選定」「管理職教員と教諭間の連絡調整」「研究協議会活性化のための工夫」と命名した5つのカテゴリーが生成された。特に「若手教員のための研修実施」は、実際の授業づくりや教材研究に向けた指導のみならず、公開授業や研究対象授業における「授業解説」や「疑問の吸い上げ」、授業後に行われるいわゆる研究協議会での「発言内容の指導」にも及ぶ例が存在していた。研究協議会においては、発言者の固定化や「何を発言していいかわからない」と悩む若手教員の存在、指導案の内容や授業方法についての質疑応答が主であり「授業における教師や児童の事実に基づいた省察には話題が及ばない」こと等が現代的な課題としてあげられた。多くの研究推進委員長がこの現状に対して、例えば「短冊カードを用いた意見の収集と協議前の整理」「議論の視点構築」「少人数での分科会を経ての全体会実施」等の工夫を行っていることが明らかになった。

以上を遂行できる力量が、推進委員長に求められるファシリテイトと能力であると考えられるが、同時にインタビュー調査から得られた知見を紹介したい。体育科を通して校内研究を行う場合、その推進委員長には体育科を中心研究教科にしている教員が選ばれる場合が多い。そのため、推進委員長は体育科の教科内容や授業方法に対する専門的知識や経験を有し、その力量に対する自負をも持ち合わせている。推進当初は、自身が持つ教科の専門性を生かし、今まで参加した研修会や研究会で得た内容を校内に広めて共有を目指す「伝達型」のスタイルがとられる場合が多い。しかし、推進していくにつれ、推進委員長としての興味関心は、「体育科の授業づくり」や「校内研究を進める教員の同僚性構築」から、研究を通して「校内の児童をどのように育てていきたいのか」「体育科の授業を通して児童をどう変容させたいのか」という視点にシフトチェンジしていく傾向があることが明らかになった。これは、校内研究をまとめるといふ立場に従事することにより、校内研究の本質的な目的を再発見した行為だと捉えられる。そうであるなら、校内研究のファシリテイトと能力として「学校の授業づくりを通じた児童観・教育観を形成していく力」が存在する可能性があると言える。

本研究で得られた知見をもとに他の事例を検討したり、意識調査を行ったりすることで、より一般的な推進委員長のファシリテイト能力獲得のモデルを生成しけるだろう。今後の課題としたい。

研究成果発表方法

[発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入する。]

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

「教師が成長するとはどうなることか」鈴木聡（2013.5）体育科教育 6月号大修館書店（執筆中）

「校内研究会の推進役に求められるファシリテイト能力に関する研究」鈴木聡 2013.8

体育授業研究会千葉大会口頭発表（発表予定）